

# ハマックスがトルコ進出

## 風力発電関連で合弁会社

舶用ディーゼルエンジンなどのボルトやナットを手掛ける濱田屋商店（長崎市）のグループ会社で、製造部門を担うハマックス（兵庫県姫路市）は、トルコに現地企業との合弁会社を設立する。風力発電設備に関する製造や営業の拠点と位置付け、欧州での事業展開を探る狙い。9月の稼働を目指している。

## 欧洲での事業展開探る

合弁会社は、ハマックスと現地で風力発電用風車のタワーを製造するメーカーが50%ずつ出資。社屋は国内第3の都市、イズミルに構える。洋上風力発電が盛んな歐州での事業を見据え、輸送や人件費の面で有利とみて進出を決めた。当面は、風車のタワー部

うボルトを製造。高品質を徹底して、中国など外国企業との差別化を図り、マーケット参入をうかがう。

ハマックスは、佐世保市に主力の工場を置き、舶用ディーゼルエンジンの大型転造ねじ製造は、国内シェア約8割を誇る。米国にも製造拠点を構える。風力発電関連の売上高は全体の1割



設立する合弁会社の社屋前で、写真に納まる関係者  
＝トルコ、イズミル（ハマックス提供）

程度にとどまつており、トルコ進出を足掛かりに、成長戦略の一つとしている考え。濱田屋商店の濱田隆作副社長は「世界のトップメーカーと付き合うきっかけを作つくる。競争は激しい分野だが、日本のメーカーがどこまで通用するのかチャレンジしたい」と語った。

（後藤洋平）